



お啓陳者

小生儀御里徳昌一丁有てあつて兵とて
一雨の以前上段本日又今神戸より大智丸に
乗船し入世家の念よあつて申
たれまじ在事中は種々は務通等とあがかり
殊の出立の際には送別をさすけ用事と
は十年のむも名譽言とするところも
紀念のたすしん
何れも善世の上本え多斯葉將之斯葉の
上の重かりたすん覚悟のし
生々出立のたすん、たすま

沖に

大智丸船主より

一五の十日

午前

白鳥龍

大隈伯翁殿

げ令天人へは傳くま

